



2016



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015 - 16 会長主題

一人ひとりが賜物。もっと発酵、もっと発信！

あずさ部長	標 克明 (甲府)	「ワイズメンとして一歩前進」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府)	「原点に立って、未来へステップ」
アジア地域会長	Edward K. W. Ong (シンガポール)	“Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ)	“Mission with Faith” 「信念のあるミッション」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上妻英夫 / 書記 鈴木田通夫 / 会計 尾内昌吉・金本伸二郎
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 沖 利柯

2016年 4月例会 <LTの月>

と き 4月19日(火) 18:30~
 ところ 山手センター101室
 受付 中村孝誠さん、尾内規子さん
 司会 鈴木田通夫さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 司会者
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 会食 一同
 ハッピーバースデー
 楽しい歌
 卓話「今この瞬間、生きる喜び~YMCA流」
 日本YMCA同盟総主事 島田 茂さん
 山手Yの小窓から 担当主事
 ニコニコ 一同
 諸報告 担当主事、会長
 閉会点鐘 会長

当番[第2班] 中村、尾内(規)、鈴木田、飯野

4月 HAPPY BIRTHDAY

増野 肇さん 1日 功能文夫さん 18日
 尾内規子さん 24日 飯島隆輔さん 25日

会費の納入は、会計(尾内君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う』
 “To acknowledge the duty
 that accompanies every right”

今月の聖句

見よ、新しいことを私は行う。
 今や、それは芽生えている。
 あなたたちはそれを悟らないのか。
 わたしは荒れ野に道を敷き
 砂漠に大河を流れさせる。
 イザヤ書 43 章 19 節

3月報告

会員在籍数		18名
例会出席者	メン	15名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		5名
会員出席率		83%
ニコニコ	10,031円 (累計 61,045円)	

B F 国内切手 1.6kg 外国切手—kg



3月例会 報告

3月15日(火) 18:30~20:30

山手センター 101号室

出席：浅羽、上妻、飯島、飯島(愛)、飯野、尾内、
尾内(規)、沖、金本、功能、鈴木田、鈴木田(祐)、
田尻、中村、増野 15名

ゲスト・ビジター

長谷部貴俊さん(卓話者・日本国際ボランティア
センター(JVC)事務局長)

日野枝里子さん(東京YMCA国際事業担当)

神谷幸男さん(東京西クラブ)

張替滋夫さん(東京世田谷クラブ)

川本龍資さん(名古屋クラブ)

合計 20名

司会は上妻さん。2月のTOFをひと月遅らして、3月例会で実施、おにぎり2個とお茶だけの夕食でしたが、なかなか味のよいおにぎりで好評でした。

ハッピーバースデーは、誕生月の戸坂さんが仕事のため残念ながら欠席、しかし、卓話をお願いした長谷部さんがたまたま15日が誕生日でしたのでみんなでお祝いしました。

続いて、楽しい歌は鈴木田祐子さんの選曲の「春の唄」(ラララ 紅い花束車に積んで)といつもの「ズンゴロ節」の2曲を歌いました。

さて、浅羽さんがJVCに初めて出会ったのは、30数年前、浅羽さんが千葉YMCAに在籍のときのことだったそうです。その古くからのご縁で、この日、お話を伺うことができました。長谷部さんのひげ面は、イラクに行けば護身用にととても大切なのだそうです。

長谷部貴俊さん「イラク、福島で生きる人々」

<卓話要旨>

JVC-日本国際ボランティアセンターは、1980年にカンボジア難民キャンプを支援するためにタイに集まった日本の婦人・若者たちが結成し、活動を開始した。現在、アジア、アフリカ、中東の紛争地や日本でも気仙沼、南相馬で活動している。

「人道支援」(命を守る)と「地域開発」(暮らしを支える)という二つの働きを担っている。国交が無くても、日・朝・韓の子供の絵画交流という市民同志のつながりを続けている。

私はイラクに3年間に3度、クルド地域に入った。イラクは中東の先進国で生活水準は高い。平均寿命69歳はかなり高い。医療水準も高いのだがイラク戦争で国外に流出した。シーア派が6割、スンニ派が2割だが、フセイン時代はスンニ派が政治的には上だった。今はイラク政府がシーア派民兵を支援し市民を弾圧したのでISが台頭した。イラク国内の避難民は320万人と想像を超えた状況である。

異民族対立、宗派対立が民間に下りてきてヘイトスピーチ合戦になっている。その中で共存のためにNGOは活動している。

福島の南相馬に行くのが怖かった。気仙沼では高台に集団移転している。原町は私が子供のころ泳いだところだ。第1次支援ではラジオを南相馬市に寄贈、第2次支援では情報共有のためのFM放送の運営を支援した。

仮設住宅や復興公営住宅では孤立死の懸念がある。集会所にはサロンを開設し、マッサージチェアや椅子・テーブルを置いた。行政と連携し、情報は行政からもらった。

JVCのスタッフは東京に20人位、海外に優秀な人材が100人位いる。予算は3~4億円、このうち寄付金が3割、国(外務省関係)の補助が大きく、政府頼みのNGOになることを懸念している。

.....

卓話の後、4月から大阪Yに帰任される田尻さんから「再会を楽しみにしています」とご挨拶があり、また、沖さんから、高田馬場での東日本復興支援街頭募金が20万円以上を与えられたことの報告、山手館長が沖さんから松本竹弘さんに替わる旨の報告等がありました。

3月ヨルダン会 報告

3月23日(水)13:30~15:00 山手センター202
出席:浅羽、尾内、沖、功能、中村、増野 松本
1、奈良傳賞候補の推薦について、山手クラブからの推薦者はなしで報告する。

2、山手クラブの会員異動

3月末退会:田尻忠邦さん(大阪Yに復帰)
戸坂昇子さん

担当主事異動:4月から山手センター館長が沖利柯さんから松本武弘さんに交替するのに伴い担当主事も松本さんにかわる。

3、2016年7月~2017年6月度

①山手クラブ役員案(敬称略)

会長 金本伸二郎
副会長 尾内昌吉
書記 増野 肇、(副) 飯野毅与志
会計 中村孝誠
直前会長 浅羽俊一郎
音楽 鈴木田祐子
ドライバー 上妻英夫
ブリテン 功能文夫
EMC 鈴木田通夫
BF. CS 青鹿博明
Yサービス 飯島隆輔
IBC. DBC 尾内規子
YEPP. STEP 尾内規子
国際交流 飯島愛子
担当主事 松本竹弘

②例会・ヨルダン会

例会 第3火曜日 18:30~20:30
ヨルダン会(変更あり)

第4水曜日 19:00~20:00

4、新年度の浅羽あずさ部長および書記、会計の3役があずさ部各クラブを訪問するための活動

費補助として年間15万円を山手クラブ新年度予算に計上する。補助基準額:松本、長野出張—3,000円、甲府出張—2,000円、都内他クラブ出張—1,000円

5、3月会計報告(尾内)

6、4月卓話者 島田茂日本YMCA同盟総主事

5月卓話者 松浦幸子さん(増野さん友人、社会活動家、料理店経営等)

.....

ご挨拶

沖 利柯

2年前の4月、この山手コミュニティセンター館長として着任すると同時に、山手ワイズメンズクラブの担当主事に任命されました。コミュニティセンターは私の大好きな場所です。現場に戻り若いリーダーたちやメンバーに囲まれ、会員の皆様と一緒に地域活動ができることに胸躍らされる一方、歴史と伝統のある山手ワイズの担当という責任も重く受け止めておりました。メンバーの皆様の例会を大切に運営されているクラブの在り方に、自分も襟を正される思いでした。

2年間という短い間ではYMCAの思いも十分にお伝えすることもできず、クラブにとって何もお役に立てなかったことが残念でなりません。やっと地域とのパイプもでき、ワイズの皆様とも親しくなり、さあこれからという思いでの異動となりました。今までバザー、クリスマス、チャリティーランなど、様々なお支えをいただき、本当に有難うございました。特に、チャリティーランの派手なピンクのTシャツを押し売りしてしまったことは胸が痛いです…。でも、毎回歌う正調ズンゴロ節はしっかり頭に入りましたので、これからはリーダーたちにも自信をもって教えられます。

後任の松本さんは私よりずっと山手のことをわかっております。山手学舎の舎監もしておりましたので、きっと山手ワイズメンズクラブの新しい歩みの力強い推進力となってくれると思います。どうぞ、よろしくお支えのほどお願いいたします。私は4月より東陽町の会員部に席を移しますが、ワイズの皆様とは深い関係のある部門です。どうぞ今後ともよろしくご指導、ご協力の程をお願い申し上げます。本当に有難うございました。今までの交わりとお支えに心より感謝いたします。

.....

沖さんへ お世話になり、ありがとうございます。東陽町でのご活躍を祈ります。 山手一同

4月卓話者のご紹介

日本YMCA 同盟 総主事

島田 茂 さん

東京都出身、1954年生、上智大学（哲学）卒

1978年 横浜YMCAに入職、

2009年 富山YMCA総主事

2009年7月より現職

<私の福島・フクシマ No. 9 >

震災5年、福島を想う

戸坂 昇子

東日本大震災から5年。その日を境に人生や生活が大きく変わってしまった方々、何気ない日常の幸せを奪われてしまった方々にとって、この5年はどんな日々の積み重ねであったのかと思う時、暗澹たる気持ちになります。

震災後、2012年2月に福島を訪れる機会がありました。震災復興支援を担う会員部スタッフとして、福島の方（小学生の子どものお母さん）に震災後の生活やお気持ちについてお話を聞くためでした。郡山駅に降り立つと、マスクをつけて足早に歩く人達の姿が異様で、町はどんよりとした空気に包まれていました。きっと3月10日までは町には活気に満ちていて、子ども達は伸び伸びと戸外を走り回っていたに違いありません。そして多くの大人たちも原発を特別に意識することなく日常生活を享受していたのではないのでしょうか。

以前、福島の小学校、中学校の教科書副読本に『チャレンジ！原子力ワールド』というのがあり、津波が来ても大丈夫、五重の壁があるから大丈夫、原発はCO2を出さない、きれいな発電…ということが記載されていたそうです。避難訓練もしてこなかったといいます。原発が安全であることが建前であったから。そんな神話が突然に崩れ、原発の脅威がむき出しになり、5年を経てもその影響の全貌が見えない現状。原発そのものの危険性だけでなく、原発をめぐる一部の大人たちのエゴが悲劇を拡大しているのは言うまでもありません。

「原発の恐怖とは、自然を征し、人間や生物の組織を破壊するばかりでなく、人間の関係を断ち切り、権力に迎合させ、自治体を秘密主義と非民主主義にすることにある」。ノンフィクション作家の鎌田慧の言葉です。今、福島で生き続けることがどれだけ大きな試練であるか。人間の信頼関係が傷つき、大人たちの生き方に迷いや不安があれば、一番の犠牲になるのは子ども達です。福島の子どものことを真剣に考え行動することは、そのまま日本の未来を守ることです。メディアに流されず、権力にだまされず、真実を見る目をもっていたいものです。

2016-2017年度

次期会長・部役員研修会 報告

金本伸二郎

研修会は、3月5日から6日にかけて、日本YMCA 同盟国際青少年センター 東山荘にて開催されました。渡辺隆東日本区理事の開会点鐘で始まり、冒頭で渡辺理事より東日本区の現状が話されました。その後、YMCA の理解、利根川恵子次期理事及び各次期事業主任による方針説明、基調講演、浅羽あずさ部次期部長を囲んでの懇親会、クラブ会長の務めや会計等々があり、あっと言う間の2日間でした。

基調講演は元アジア太平洋地域 YMCA 同盟総主事の山田公平さんで、ワイズと YMCA の協働をどう進めるのか、次世代の生き方に変化がある中で「これからのワイズ、YMCA にとってのワイズの在り方」はどうあるべきか等大変示唆に富んだ話を伺いました。

2016-2017年度東日本区理事主題は「明日に向かって、今日動こう」(For the future, act today!)。あずさ部部長主題は「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」です。東日本区では、重点目標の一つに、引き続き「部の強化、活性化」をうたっていました。

なお、今研修会の参加者は次期クラブ会長 39名、次期部役員 29名を含め総数 105名でした。山手クラブからは浅羽会長、東日本区連絡主事としての田尻さんと私の3名でした。

任務の重さを感じるとともに山手クラブとしては、浅羽あずさ部次期部長を大いに盛り上げていかねばとも思いを新たにしました。



<上妻英夫さん> 「弥生入り 4月陽気のあたたかさ」。毎日の天気予報では暖かい日が続くという。これも異常気象でしょうか。小生も暖かい方が良いですね。

<鈴木田通夫さん・祐子さん> ①元山手クラブメンバーで現まちだクラブだった小山正直ワイズが3月2日、天に召されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

②田尻忠邦ワイズが転勤で大阪に戻れるとのこと、健康が守られ益々のご活躍をお祈り申し上げます。

<戸坂昇子さん> 山手ワイズの皆様には、入会からこれまで親しくしていただき、温かな励ましをいただき、感謝しております。皆さんお一人お一人のお人柄には感動を覚えることが多く、人生の先輩から多くのことを学ばせていただきました。

会員部の仕事を沖さんに引き継ぎ、ワイズ会長会担当主事も沖さんになりますので、役割上、山手クラブを退会することになりました。残念な思いはありますが、今後も山手ワイズの皆さんにはお支えをお願いできれば幸いです。

4月の例会は会議と重なり欠席になりますが、5月か6月の例会にはご挨拶に伺いたいと思っております。

戸坂さんへ 例会では「楽しい歌」のピアノ伴奏をしていただき、みんなで楽しく歌うことができました。山手クラブの例会にいつでもどうぞ。

.....

哀悼 小山正直さん(東京まちだクラブチャーターメンバー、元東日本区理事、元東京山手クラブメンバー) 3月2日に天に召されました。84歳のご生涯でした。

3月7日、小山正直兄の告別式に参列しました。小雨降る中、小山兄を敬愛する多くのワイズメン兄弟が桜美林教会に集い、小さな教会は座れない程でした。若い木村牧師は学生時代から小山兄と親しかったことを語り、弔辞はワイズからは伊藤幾夫メン、また遺族代表はお兄様の小山孝吉氏と、甥に当たる菰淵光彦メンが挨拶されました。菰斑メンは挨拶の中で小山メンが口笛がうまかったと言って、ご自分でも「いざ立て」数小節を口笛で披露してくれました。ワイズメンの温かい絆がとても良く感じられるひとときでした。

(浅羽俊一郎)

▼第690回東京YMCA午餐会
子どもたちに寄り添う (いじめ・虐待・非行の現場から)

東京弁護士会の子どもの人権救済センターには、いじめや虐待に苦しむ子どもたちの深刻な相談が寄せられる。子どもたちが何に苦しみ、私たち大人はどうすればよいのか、現場で出会った子どもたちの声から一緒に考えていく。

【卓話者】坪井節子氏 (弁護士/社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長)

【とき】4月11日 (月) 12:00~13:30

【ところ】東京大学YMCA (文京区向丘1-20-6)
*東京メトロ南北線 東大前駅徒歩0分

【参加費】 3,000円 (食事なし1,500円)

【問合せ】東京YMCA賛助会事務局
電話: 03-3615-5568 4/7まで

▼「ASCA (アスカ) クラス」開講20周年

20周年を迎えたことを記念して、2月14日、『発達障がいのある子の高校卒業後の「社会自立」の実現に向けて』をテーマに記念講演会が開催された。保護者や支援機関のスタッフなど約140人が山手センターに集い、発達障がいの第一人者である講師陣の話に耳を傾けた。現在、ASCAクラスは西東京センター、東陽町センター、南センターで開講している。また、2016年度4月より山手センターで「START-Y」を開講する。発達障がいまたはその可能性のある大学生を対象とした新規プログラムで、明星大学で開発された。時間管理やストレスコントロールなど、大学や就職先で必要な力を身につけていく。

▼山手コミュニティセンタースタッフ体制

【異動】

沖 利柯 →会員部・コミュニティセンター統括

木村卓司→南コミュニティセンター

出沼一弥→西東京コミュニティセンター

大津桃子 (東陽町) →山手センター (野外・プール)

伊藤剛士 (会員部) →山手センター (語学・野外)

【退職】橘 千景 (プール)

【新採用】堂前征孝 (プール・野外)

【その他】山手会館館長→松本竹弘 (松本竹弘)